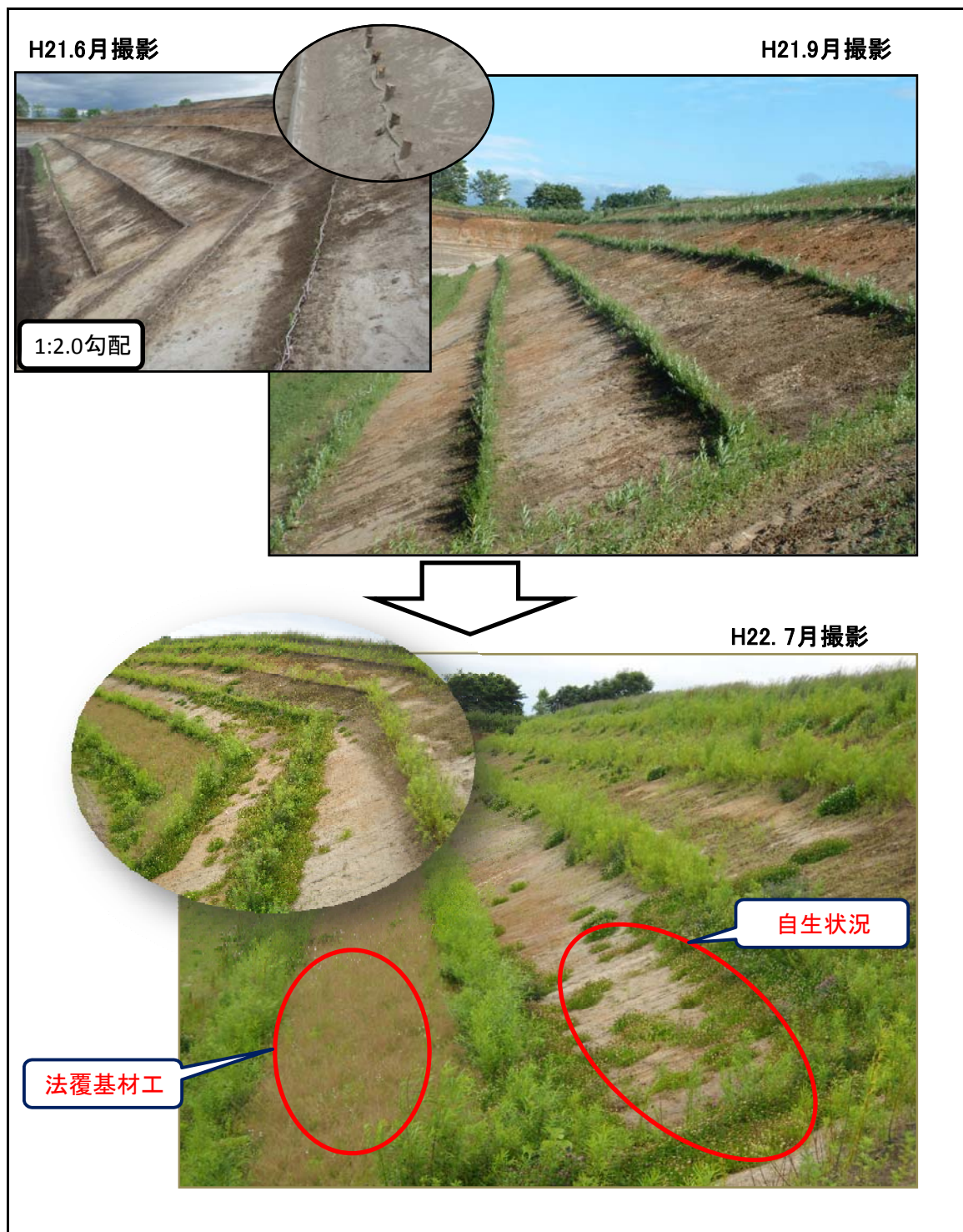


2-5-⑪・⑫・⑤ 法面保護工 施工事例

(⑪法勾配緩和工・⑫帯梢段柵工・⑤法覆基材工) 【H20施工:畑総 網走東部地区】

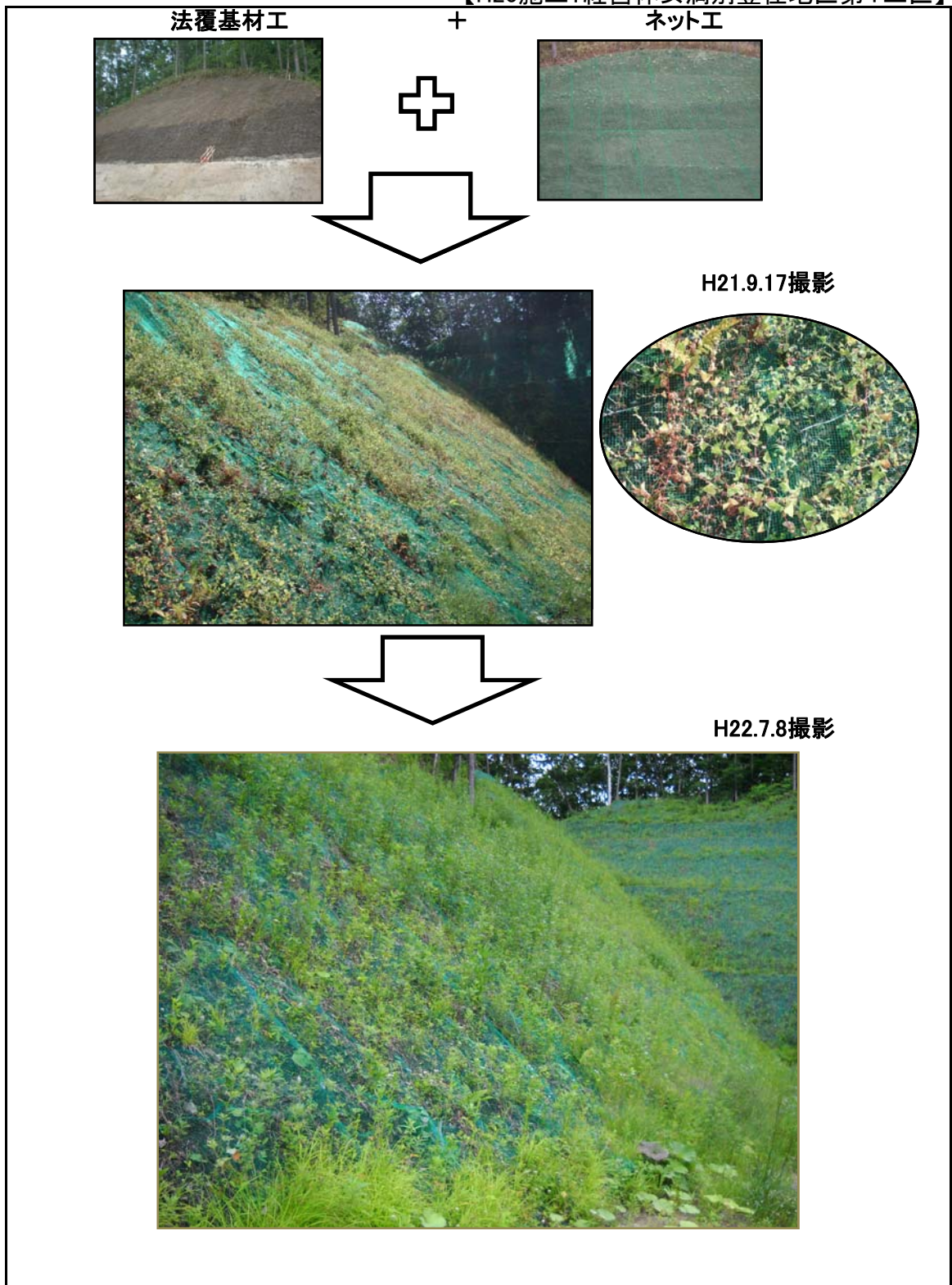


<補足事項>

* H20帯梢段柵施工後、H21に部分的に法覆基材工(法面最下段)を行ったことにより、翌年H22には草が繁茂している。また、帯梢段柵のヤナギも生長し、法勾配も緩いことから自生した植生が順調に成長している。

2-5-⑬ 法面保護工 施工事例 (⑬:ネット工【ネット工+法覆基材工】)

【H20施工:経営体女満別豊住地区第1工区】



<補足事項>

* 法勾配1:1.2だがネット工によって融雪による崩れがなく法面が安定し、植生も順調である。

【参考】

＜ヤナギの挿木までの手順方法＞



①【採取】
ヤナギは20cm
程度の長さに斜
めに切断する。



②【養生】
1週間程度水に
つけておく。



根が少し生えて
くれば植え頃



③【ポット植
え】堆肥を
混ぜ合わせ
た土を牛乳
パックに入れ
、ヤナギを
差し込み、
芽が出る
まで養生



④【挿し木】
穴を掘り、牛乳パック
ごと入れ、ワラムシロで養
生(牛乳パックは縦に
切れ目を入れておく)



⑤ 完成



* 堆肥を混ぜた栄養ある土を使用し、ワラムシロにて水分養生を行った事により生育は順調である。